

ひょうごインフラ整備基本方針 (概要版)

ひょうごインフラ整備基本方針の改定

策定主旨

「躍動する兵庫」の実現に向け、「ひょうごビジョン2050」に描く「**強靱で持続可能な社会**」をめざした**インフラ整備を推進**するため、基本方針を策定。

- (1) 目標年次：2050年度（「ひょうごビジョン2050」）
- (2) 対象事業：土木部・まちづくり部・農林水産部所管のインフラ整備事業
- (3) 対象施設：道路、河川（ダム含む）、砂防、港湾、海岸、下水道、空港、公園、県住、農道、治山、ため池、ほ場、林道、漁港
- (4) 財政フレーム：持続可能な行財政基盤の確立に向け策定された県政改革方針の財政フレームを遵守

インフラを取り巻く主な社会情勢

◆人口減少・高齢化・担い手不足

- ・人口は2050年に約423万人と推計（2015年比24%減）
- ・高齢化率は2050年に40.4%と推計（2015年：27.1%）
- ・インフラ整備の担い手不足の深刻化

◆気候変動等による災害リスクの高まり

- ・激甚化・頻発化する豪雨災害
- ・切迫する南海トラフ地震
（東日本大震災（2011年）や能登半島地震（2024年）等、度重なる地震・津波が発生）

◆高規格道路ネットワーク形成の需要の増大

- ・阪神・播磨地域における渋滞解消や災害時のリダンダンシー確保（ラダー型ダブルネットワークの形成）
- ・日本海沿岸部における広域生活圏強化

◆インフラ施設の老朽化が進行

- ・2029年に県管理の道路橋の約6割が建設後50年経過

◆グリーン社会の実現に向けた動き

- ・2050年カーボンニュートラルを目指した脱炭素の取組み

◆インフラ分野におけるデジタル技術活用の加速

- ・ドローンによる橋梁点検などAI技術の活用による効率化・高度化

◆通学時等の生活道路の安全性確保に対するニーズの高まり

- ・通学児童を巻き込む事故等の発生 など

ひょうご
ビジョン2050

「躍動する兵庫」

「**インフラのめざす姿**」
強靱で持続可能な社会

ひょうごインフラ
整備基本方針

整備の視点
①防災・減災 ②経済
③持続 ④生活

県政改革方針

ひょうごインフラ
整備プログラム

基本方針

人口減少やカーボンニュートラルなど社会変化の潮流を前提として、**強靱で持続可能な社会の礎となるインフラの構築に向け、以下の4つを視点に、限られた予算の中、より一層、選択と集中の徹底を図り、計画的に整備を推進する。**

- ① **防災・減災** ～「防災・減災」対策による自然災害に強い社会の実現～
 - ・切迫する大規模災害に備える地震・津波対策
 - ・頻発する風水害に備える総合的な治水対策 等
- ② **経済** ～「経済」成長の実現～
 - ・高規格道路ネットワークの充実強化 等
- ③ **持続** ～老朽化対策や脱炭素化への取組等による「持続」可能な社会の実現～
 - ・計画的・効率的な老朽化対策
 - ・カーボンニュートラルの実現
 - ・インフラDXの推進 等
- ④ **生活** ～安全・安心で住みやすい県民「生活」の実現～
 - ・安全安心な暮らし（歩行者・自転車空間）の実現
 - ・地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備 等

【主なSDGsのゴール】

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



気候変動



産業支援



まちづくり



命を守る

ひょうごインフラ整備基本方針(案)

視点1 防災・減災 : 「防災・減災」対策による自然災害に強い社会の実現



➤ 激甚化・頻発化する豪雨災害や切迫する南海トラフ地震等に対し、県民が安心して暮らすことができ、自然災害に強い社会を実現できるよう、インフラを整備

施策	具体的な事業内容
①切迫する大規模地震に備える地震・津波対策	津波対策
	道路防災対策
②頻発する風水害に備える総合的な治水対策	河川の事前防災対策
	高潮対策
	ため池等の防災対策
③土砂災害対策	山地防災・土砂災害対策
④発災後の迅速な復旧・復興を支える緊急輸送道路等の機能強化	緊急輸送道路等の機能強化
	高規格道路ミッシングリンク解消等による道路ネットワークの機能強化
⑤減災のための情報発信	警戒避難活動に役立つ災害危険情報の提供
⑥災害復旧	河川堤防決壊や道路斜面崩壊等の復旧

②頻発する風水害に備える総合的な治水対策



③土砂災害対策



①切迫する大規模地震に備える地震・津波対策

【津波対策】



【地震対策(橋梁耐震補強)】



【地震対策(法面对策)】



④発災後の迅速な復旧・復興を支える緊急輸送道路等の機能強化



⑤減災のための情報発信



ひょうごインフラ整備基本方針(案)

視点2 経済：「経済」成長の実現



➤ 人・モノ・投資を呼び込み、持続的な経済成長が実現できるよう、物流・産業・交流の支えとなる道路ネットワーク整備や港湾の機能強化等のインフラを整備

施策	具体的な事業内容
①高規格道路ネットワークの充実強化	高規格道路の整備
	高規格道路の利活用
②港湾の機能強化・利用促進	港湾の機能強化
	港湾の利用促進
③空港の有効活用・利便性向上	関西3空港の利用促進
	コウノトリ但馬空港の利活用促進
④大阪湾ベイエリアの活性化	大阪湾ベイエリアの活性化
⑤農林水産基盤の整備	農業基盤の整備
	林業基盤の整備
	水産基盤の整備

②港湾機能の強化・利用促進

【旅客ターミナルエリアの再編】



③空港の有効活用・利便性向上

【関西3空港の利用促進】



【コウノトリ但馬空港の利活用促進】

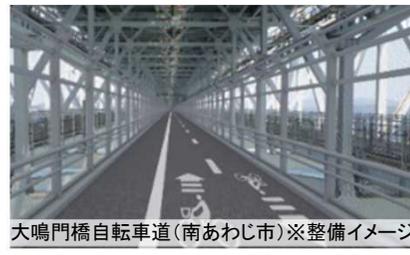


①高規格道路ネットワークの充実強化

【高規格道路の整備】



【高規格道路の利活用】



【高規格道路から観光地へのアクセス道路】



④大阪湾ベイエリアの活性化

【旅客船の受け入れ環境の向上】



【スーパーヨットの誘致】



⑤農林水産基盤の整備

【農業基盤の整備】



【林業基盤の整備】



【水産基盤の整備】



ひょうごインフラ整備基本方針(案)

視点3 持続：老朽化対策や脱炭素化への取組み等による「持続」可能な社会の実現



➤ 持続可能な社会を実現できるよう、施設の計画的な老朽化対策、地域のニーズ等に応じた施設の統廃合、播磨臨海地域のカーボンニュートラル、インフラ分野のDX等を推進

施策	具体的な事業内容
①計画的・効率的な老朽化対策	老朽化対策・施設の統廃合 安全安心な日常の維持管理
②官民連携による維持管理	ひょうごアドプトなど
③カーボンニュートラルの実現	カーボンニュートラルポートの形成
	下水汚泥エネルギーの有効利用
	生物多様性の確保 ブルーカーボン生態系の保全と再生
④インフラDXの推進	インフラDXの推進
⑤持続可能な建設業	建設企業等の健全育成

①計画的・効率的な老朽化対策(老朽化対策・施設の統廃合)



①計画的・効率的な老朽化対策(安全安心な日常の維持管理) ②官民連携による維持管理



③カーボンニュートラルの実現



④インフラDXの推進



⑤持続可能な建設業



ひょうごインフラ整備基本方針(案)

視点4 生活：安全・安心で住みやすい県民「生活」の実現



➤ 高齢者や子供など全ての県民が安全に安心して暮らせるよう、必要なインフラを整備・確保

施策	具体的な事業内容
①安全安心な暮らしの実現	歩行者の安全・安心な通行空間の確保 自転車の安全で快適な通行空間の確保
②地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備	地域の個性ある発展を支える幹線道路網の整備
	街路網の整備
	渋滞交差点の解消
	問題踏切の解消
③県民の移動を支える公共交通の維持・活性化	生活道路の整備
	鉄道の利便性向上・利用促進 生活交通の維持・活性化
④都市の環境改善	無電柱化対策
⑤安心・快適な都市基盤の整備	公園の整備
⑥中心市街地等の活性化	市街地再開発事業
	土地区画整理事業
⑦良好な居住機能の確保	県営住宅の建替事業

①安全安心な暮らしの実現



②地域の交流・日々の暮らしを支える道路整備



③県民の移動を支える公共交通の維持・活性化



④都市の環境改善(無電柱化対策)



⑤安心・快適な都市基盤の整備(公園整備)



⑥中心市街地等の活性化



⑦良好な居住機能の確保

